

2025 年 3 月 14 日

エルピクセル、画像診断支援 AI「EIRL」シリーズの総解析件数が 1,000 万件を突破

エルピクセル株式会社（本社：東京都千代田区 以下「エルピクセル」）は、医療画像診断支援 AI「EIRL（エイル）」シリーズの総解析件数について、1,000 万件を突破した事を報告した。

EIRL シリーズは、2019 年にシリーズ最初の製品となる脳 MRI 画像から脳動脈瘤の候補点を検出する EIRL Brain Aneurysm を皮切りに、頭部・胸部・大腸の 3 つの領域で 9 つの製品をリリース。これまでに大学病院から診療所まで幅広く、47 都道府県全てにおいて累計 900 以上の医療施設に導入されている。

特に、1 日に数百件以上の胸部 X 線検査を実施する健康診断施設での採用・活用が進んだことで、解析件数は 2024 年 3 月 1 日から 2025 年 2 月末までの 1 年間で 500 万件、総解析件数は 1000 万件を突破し、ユーザーである医師からのフィードバックを受けて性能改善や機能追加などバージョンアップを行うことで、医療現場で確かに活用される AI へと進化している。

なお、2025 年 4 月 11 日からパシフィコ横浜で開催される「2025 国際医用画像総合展（ITEM2025）」では EIRL シリーズの導入・活用事例だけでなく、製品開発に関わったエンジニアも立ち合い、最新技術を体験できる展示企画を準備している。